

淀屋橋駅(地下鉄御堂筋線)④

五代友厚ゆかりの地を歩く

淀屋橋駅(京阪本線) 大江橋駅・なにわ橋駅(京阪中之島線)
北浜駅(地下鉄堺筋線・京阪本線)

「大阪あそび歩マップ集」
その3 No.146

地下鉄・京阪淀屋橋駅

〈五代友厚〉五代友厚は薩摩出身で、幕末に長崎の海軍伝習所に学び、慶応4年(1868)に外国事務局判事として大阪に赴任しました。大阪開港後は税関に政府役人として籍を置いています。明治2年(1869)に下野してさまざまな事業を興し、大阪経済発展に大きな功績を残します。初代大阪商法会議所(現・商工会議所)会頭を務めました。

①五代友厚旧邸(日本銀行大阪支店)

● 大阪に赴任したのち、五代は備後町、北浜、靱と住居を変えましたが、明治18年(1885)1月に中之島に居を定めました。同年の9月に逝去したため、わずが半年余りの居宅でした。現在の
▼ 日本銀行大阪支店の場所です。

②弘成館

● 五代は鉱山開発に積極的に取り組み、天和銅山、蓬谷鉛山、半田银山などを買収して開発を進めました。弘成館は、鉱山管理

● の管理事務所として開かれたのも
▼ のです。

③大阪通商会社・大阪為替会社跡

● 各藩が行ってきた外国貿易を一括管理するために、明治政府は通商司を設置し、その監督の下に為替会社を置きました。五代も大阪財界に働きかけて大阪為替会社と大阪通商会社を設立しました。為替会社は預金・貸付・為替など銀行のような役割を果たしていました。



④大阪株式取引所

● 明治7年(1874)に明治政府は東京に、明治11年(1878)に大阪に株式取引所を設置しました。現在の大阪証券取引所です。正門正面に五代の立像があります。



⑤花外楼(大阪会議開催の地)

● 天保年間(1830~43)に創業の料亭です。明治8年(1875)1月、混迷する政局をめぐる政府の大久保利通、伊藤博文、井上馨が下野していた木戸孝允、板垣退助と緊急の会議を開いた大阪会議の場所です。当時の名前「加賀伊」を、会議の成功を祝して孝允が「花外楼」と改名しました。直筆の扁額が保管されています。

地下鉄・京阪北浜駅

